

患者の皆様へ

2020 年 9 月 25 日

肝胆膵外科

現在、肝胆膵外科では、「膵頭十二指腸切除における幽門輪の意義」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では 2015 年～2017 年に膵頭部領域疾患に対して膵頭十二指腸切除を受けられた患者様の診療情報などを利用させていただきます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名

「膵頭十二指腸切除における幽門輪の意義に関する後方視的観察研究－日本肝胆膵外科学会プロジェクト研究－」

2. 研究の意義・目的

膵頭十二指腸切除における幽門輪切除が胃内容排泄遅延を減少させるかを検証し、合併症の少ない手術方法を追究する。

3. 研究の方法

2015 年 1 月 1 日から 2017 年 12 月 31 日の間において、当科にて膵頭十二指腸切除術を受けられた患者様の、診療録に記録されている病歴、血液検査値、手術方法と合併症の関連を調べる。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、匿名化して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院臓器制御外科研究室の鍵のかかる保管庫で保管します。

5. 外部への試料・情報の提供

匿名化されたデータは研究代表機関の和歌山県立医科大学へ送られ、解析されます。

6. 研究組織

研究責任者:和歌山県立医科大学第2外科 川井 学

研究参加施設:

愛知医科大学病院、愛知県がんセンター中央病院、秋田大学医学部附属病院、磐田市立総合病院、愛媛大学医学部附属病院、大垣市民病院、大阪国際がんセンター、大阪市立総合医療センター、大阪市立大学医学部附属病院、大阪赤十字病院、大分赤十字病院、大分大学医学部附属病院、岡山大学病院、金沢大学医学部附属病院、社会福祉法人恩陽財団済生会熊本病院、九州大学病院、国立病院機構九州医療センター、久留米大学病院、京都大学医学部附属病院、京都医療センター、近畿大学医学部附属病院、慶應義塾大学病院、国立がん研究センター東病院、高知医療センター、埼玉医科大学国際医療センター、滋賀医科大学医学部附属病院、静岡県立静岡がんセンター、自治医科大学附属さいたま医療センター、自治医科大学附属病院、聖マリアンナ医科大学病院、千葉大学医学部附属病院、東京医科歯科大学医学部附属病院、東京医科大学病院、東京大学医学部附属病院、東邦大学医療センター大森病院、富山県立中央病院、奈良県立医科大学附属病院、日本医科大学付属病院、浜松医科大学医学部附属病院、県立広島病院、福島県立医科大学附属病院、兵庫医科大学病院、弘前大学医学部附属病院、札幌医科大学附属病院、北海道厚生連札幌厚生病院、北海道大学病院、名古屋大学医学部附属病院、三重大学医学部附属病院、宮崎大学医学部附属病院、山口大学医学部附属病院、横浜市立大学附属病院、和歌山県立医科大学附属病院

7. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて揭示を行っています。

研究実施機関 : 千葉大学医学部附属病院肝胆膵外科

本件のお問合せ先 : 医学部附属病院肝胆膵外科

医師 小西 孝宜

043(222)7171 内線 6731

研究代表機関 : 和歌山県立医科大学 第2外科

研究代表者 : 川井 学